

築港・天保山地区の夜間人口、事業所数と従業員数の毎年の推移について公表してほしい。すでに公表されている統計データがあるのであればその出所を教えてください。

- ・ 「築港・天保山まちづくり計画」(以下、「計画」)に掲載している統計データについては、国等が調査した町丁目別データを引用し、築港・天保山地区(築港1～4丁目、海岸通1～2丁目)を集計したものであり、区役所が独自に調査したものではありません。

【年代別人口】

- ・ 「年代別人口」については、国が5年ごとに実施している「国勢調査」の「小地域集計」にて町丁目別の人口データが集計されたものから引用しています。なお、「国勢調査」の統計データは、総務省統計局及び大阪市(都市計画局統計調査担当)のホームページで公開されています。
- ・ なお、「住民基本台帳人口」にて3か月ごとに年齢別人口が集計されています。こちらも大阪市(都市計画局統計調査担当)のホームページで公開されています。参考に直近3年のデータを以下に示します。

住民基本台帳人口による年代別人口(平成27年度～平成29年度) (人)

	H27.9	H28.3	H28.9	H29.3	H29.9	H30.3
65歳以上	1,713	1,734	1,738	1,753	1,754	1,788
15以上65歳未満	3,981	3,925	3,881	3,829	3,777	3,917
15歳未満	542	531	517	487	469	467
計	6,236	6,190	6,136	6,069	6,000	6,172

【事業所数及び従業者数】

- ・ 「事業所数及び従業者数」については、平成18年まで、大阪市により5年ごとに「統計時報」にて取りまとめられた町丁目ごとのデータから引用しています。現在、同調査は、国の総務省統計局が取りまとめている「経済センサス」に統合されています。
- ・ なお、「統計時報」は大阪市役所本庁7階の統計資料室で閲覧できます。また、「経済センサス」は総務省統計局のホームページにて公開されています。

事業所数及び従業者数(H3～H24)

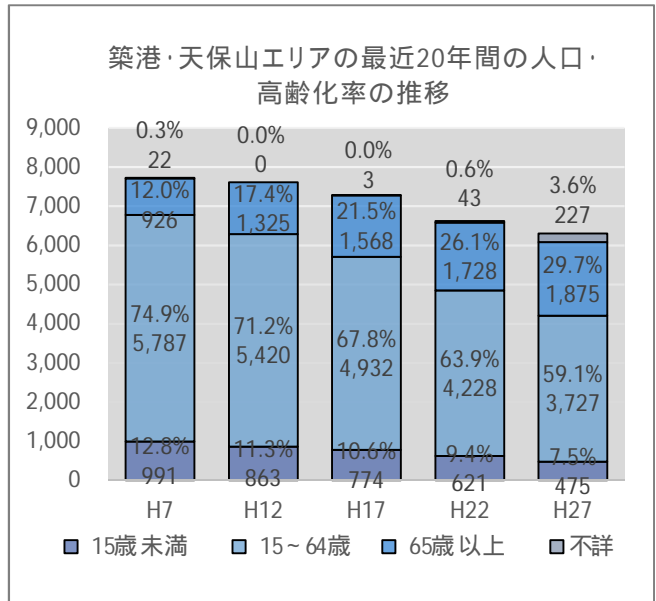
	統計時報				経済センサス
	H3	H8	H13	H18	H24
事業所数	670	599	482	472	469
従業者数	10,599	8,532	5,983	5,785	7,921

4 . 築港・天保山エリアの現状

1) 人口等

(1) 年代別人口

人口動向(H7からH27)について、大阪市全体3.4%増加、港区8.4%減少に対し、築港・天保山エリア18.4%減少(7,726人→6,304人)であり、大きく減少している。65歳以上の人口比率(H7からH27)について大阪府が10.7ポイント上昇し24.8%、港区が13.6ポイント上昇し26.4%に対し、築港・天保山エリアが17.7ポイント上昇し29.7%となり、高齢化の上昇率が高く、占める割合も高い。



(2) 事業所及び従業者数

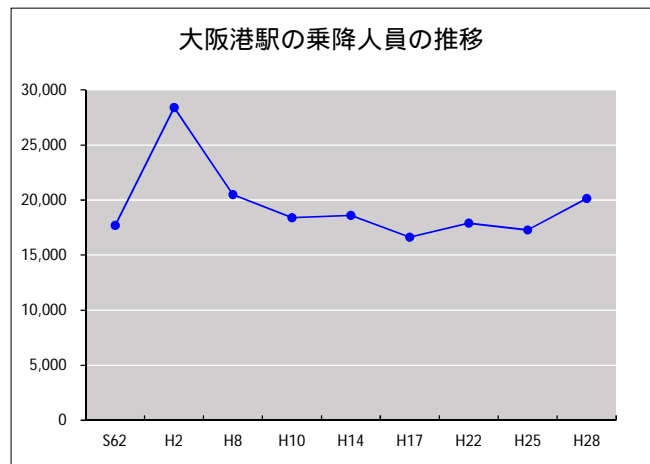
事業所・企業統計調査によると、地区の事業所数は、平成3年の670事業所から平成18年は480事業所へと減少が見られる。また、従業員数も平成3年の約10,600人から平成18年は約6,000人と減少している。特に運輸・通信業における従業員数の減少が大きく、約4,100人から平成18年は約2,200人へと減少している。

平成24年の調査では、経済センサスによる調査に統合された。調査手法が異なるため、比較はできないが、事業所数は469事業所、従業員数は約7,900人となっている。

2) 交通アクセス

(1) 鉄道

・大阪港駅の乗降人員は、平成2年の海遊館等のオープン時には、急増したものの、その後減少し、平成19年以降横ばい傾向にある。近年は1日当たり約19,000人で推移している。



資料：大阪市統計より

(2) バス

・築港・天保山エリアには市営バス4系統が運行されている。そのうち、大阪駅や難波を結ぶ系統があり、それぞれ所要時間は30~40分で、土日は平均約10~15分間隔が多い時では1時間に5~6本運行している。

(3) 道路

・阪神高速湾岸線と大阪港線の結節点である天保山ジャンクション(天保山出入口)がエリア東側に立地しており、広域からのアクセスが容易である。
 ・市内中心部方面とは、エリアの中心を東西に走る国道172号(みなと通)でアクセスしてい